



## 4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

### (1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

#### 県営ほ場整備事業等負担金

1億519万円

(担当：農村整備課計画調整係)

地域で描いた将来の営農構想を実現するため、担い手の育成を図るとともに、農地の集積を促進し、ほ場の大区画化、用排水施設、農道等の整備を行います。

#### ほ場整備事業 13地区

【築館】 芋埜地区

【若柳】 川北地区、川北2期地区、伊豆沼2工区地区、沼田・八木地区、大目地区

【栗駒・鶯沢】 稲屋敷・袋地区 【高清水】 東田地区

【瀬峰】 大里地区、上富地区、迫第4地区、藤田地区 【志波姫】 上沼地区

#### 調査事業 3地区

【若柳】 上畑岡地区 【瀬峰】 瀬峰地区 【金成】 津久毛地区

財源 県の負担額 732万円 受益者の負担額 117万円 市の負担額 9,670万円

#### くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

2,120万円

(担当：農林畜産課畜産振興係)

和牛資源の確保と産地づくりを支援するため、栗原市内で生産された優秀な繁殖素牛や肥育素牛を、みやぎ総合家畜市場から導入した場合に補助金を交付します。

また、産肉能力の高い<sup>しげひろみ</sup>茂洋美産子、<sup>ひろいとなみ</sup>洋糸波産子、<sup>かつただひさ</sup>勝忠久産子の場合は、補助金を増額し市内保留確保を強化します。



宮城県基幹種雄牛「<sup>しげひろみ</sup>茂洋美号」

#### 多面的機能支払交付金

4億3,210万円

(担当：農業政策課農業政策推進係)

農業・農村が有している国土の保全、資源かん養、景観の形成などの多面的機能の維持・発揮を図るため、日頃、地域の皆さんが行っている農地等の保全管理のための共同活動に対して支援します。多面的機能支払交付金は、下記の2つの交付金から構成されています。

#### (1) 農地維持支払交付金

○地域資源の基礎的な保全活動

水路・農道の草刈り、泥上げ等の基礎的な保全活動

#### (2) 資源向上支払交付金


○地域の質的向上を図る共同活動

水路・農道などの軽微な補修や植栽による景観形成、生き物調査などの農村環境の保全活動

財源 国・県の負担額  
3億2,407万円  
市の負担額  
1億 803万円

## 4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

### (1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

#### 野生鳥獣対策事業

1, 691万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

野生鳥獣による農林水産業等被害や人的被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の計画的な捕獲や、捕獲用わなの購入、「情報通信技術（ICT）」を活用した捕獲実証事業などを行います。

また、被害防止のため、電気柵等を設置した方に対する助成や、新たに狩猟免許及び銃所持許可を取得した方に対する助成、鳥獣被害対策実施隊員にベスト等の装備品の貸与を行います。



鳥獣被害対策実施隊による箱わなの設置

**財源** 県の負担額 50万円 市の負担額 1, 641万円

#### アンテナショップ等での物産販売事業

74万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

市特産品等の首都圏での新たな販路拡大や観光情報などを発信するアンテナショップの開設に向けて検討を行います。



新たに出展する東京都巣鴨「座・ガモール」



毎年出展している東京都池袋「宮城ふるさとプラザ」

**財源** 県の負担額 24万円  
市の負担額 50万円

#### 大学等との連携による地域農業戦略事業

54万円

(担当：農業政策課農政企画係)

東北大学大学院農学研究科・栗っこ農業協同組合・栗原市の三者で包括的な地域連携協定を締結し、栗原市における農林水産業や食産業、農村の諸問題の解決に向けて調査研究を行います。

大学の知識や人材、農協の生産技術や販売戦略、市の地域資源を活用した共同研究を実施し、地域の特性に合わせた作物や品種などの農畜産物の開発や生産技術の確立、将来の栗原市の農業を担う次世代農業経営者の育成を行います。



連携協定締結式

## 4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

### (2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

**企業立地投資奨励金** 6億9,888万円  
**企業立地促進奨励金** 8,077万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

#### 【企業立地投資奨励金】

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じて投資額の10%～20%を助成します。

#### 【企業立地促進奨励金】

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じて固定資産税相当額の2/3～全額を3年間助成します。

**ニュービジネスチャレンジ等支援事業**  
**504万円**

(担当：産業戦略課企業戦略係)

市内で創業する事業者に対し、事務所等の賃借料や施設改修費等を補助します。また、創業支援につながるセミナーを開催します。

#### 【制度概要】

- ・賃借料補助（3年間）  
補助率1/2、限度額4万円/月
- ・改修経費補助（1回限り）  
補助率1/2、限度額50万円
- ・セミナー等参加経費補助  
補助率2/3、限度額20万円
- ・創業支援セミナーの開催


**チャレンジショップキーパー支援事業**  
**1,227万円**

(担当：産業戦略課商工振興係)

商店街の空き店舗を活用し出店する中小企業者に対し、空き店舗の賃借料及び店舗の改修費を補助します。

#### 【制度概要】

- ・賃借料補助（3年間）  
補助率1/2以内、限度額4万円/月
- ・改修経費補助（1回限り）  
補助率1/2以内、限度額50万円

 **買い物困難者支援事業** 334万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

県の補助事業を活用し、商工会や地域の中小企業者等が実施する消費者ニーズ調査、小売店の新規開業、移動販売、送迎サービス事業の初期投資額に対して補助します。

#### 【制度概要】

事業費補助（1回限り）  
 補助率5/6以内、限度額334万円  
 ※補助率の内訳：県1/2以内、市1/3以内

<b>財源</b>	県の負担額	200万円
	市の負担額	134万円

**中小企業経営安定化支援事業** 3億4,000万円  
**中小企業振興資金利子補給補助事業** 1,300万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

中小企業者の経営の合理化と健全な発展と安定を図るため、融資のあっせんを行います。また、保証料の全額と、利子負担の大きい1年目・2年目の利子額の1/2を補助します。

- |        |         |                         |
|--------|---------|-------------------------|
| 【制度概要】 | 融資制度    | ・融資限度額：2,000万円          |
|        |         | ・償還年限：設備資金10年、運転資金7年    |
|        | 保証料補給制度 | 融資に係る保証料を全額補給           |
|        | 利子補給補助  | 利子額の1/2補助、2年間（借換え分は対象外） |

## 4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

### (3) 地域資源を活かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します

■ 新規事業    ■ 拡充事業    (事業名の頭に表記)

#### くりはら田園鉄道公園運営事業

2, 440万円

(担当：企画課企画政策係)

貴重な旧くりはら田園鉄道の資産を展示・公開する「くりでんミュージアム」、KD95など気動車の動態保存、レールバイク乗車会などのイベント及び気動車運転体験等を通じて、くりでんの魅力を発信し、さらなる観光誘客を図ります。



くりでんミュージアムの内部

#### インバウンド等推進事業

1, 562万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

外国人旅行者等へ向けた旅行商品の造成や展示商談会の「ツーリズムEXPO ジャパン2018」に出展し、インバウンド誘客拡大に向け、観光情報や魅力を情報発信します。



東京ビッグサイトで開催された「ツーリズムEXPO ジャパン2017」

財源	国の負担額	1, 138万円
	市の負担額	424万円

#### 栗駒山麓ジオパーク推進事業

5億2, 789万円

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)

平成27年9月に日本ジオパークに認定された栗駒山麓ジオパークを地域内外へ情報発信するとともに、体験、学習等の活動拠点として、旧栗駒小学校を活用したビジターセンターや案内看板の整備を行います。

財源	市の負担額	5億2, 789万円
	(うち市債[借入金])	4億3, 690万円



ビジターセンターのイメージ図

#### くりはら交流プラザ改修事業

5億6, 616万円

(担当：市民協働課地域振興係)



改修を行うくりはら交流プラザ



くりはら交流プラザは、竣工以来約18年が経過し、劣化が進んでいることなどから修繕箇所が増加が顕著となっています。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿地の宿泊施設としての活用や、インバウンド観光及びスポーツ合宿の受け入れ等を視野に、ホテル棟を中心に改修工事を行います。



## 4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

### (3) 地域資源を活かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します

 新規事業  拡充事業 (事業名の頭に標記)

#### 道の駅推進事業

604万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして活力ある地域づくりを行うための「地域連携機能」を併せ持つ休息施設「道の駅」の整備を検討します。



道の駅の機能

#### 市民活動(イベント)大賞事例発表会

50万円

(担当：田園観光課観光交流係)

現在、市からの補助金が交付されていない市内のイベントの事例発表会を開催し、優秀なイベントに対して表彰を行い、地域の魅力づくりと誘客力の向上につなげます。



「みんなであわせになるまつり」(栗駒地区)

#### くりはら遺産創設事業

20万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

市民が慣れ親しみ、郷土の誇りとして育んできた地域資源を、「くりはら遺産」として認定し、市民協働によりその保護及び活用を図り、魅力ある郷土の創造と発展及び誘客力の向上を図ります。



長屋門を活用したカフェ

#### 東京オリンピック事前キャンプ誘致等推進事業

332万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

2020年に開催される東京オリンピックの参加有力国に対し、交通アクセスの良さや競技施設のほか、豊かな自然など栗原の魅力をアピールし、事前キャンプの誘致活動を行います。